



きびっ子だより

金光吉備小学校だより 第4号 令和3年5月28日

考える子
やさしい子
元気な子

金光吉備小学校ホームページ

<http://www.konkokibi-e.ed.jp/>



梅雨に入り、雨の日が続いています。晴れ間が見えると、子どもたちは、運動場で、元気に遊んでいます。

新型コロナウイルスの感染が拡大し、5月16日から岡山県も、緊急事態宣言が発出されています。子どもたちが練習してきた5月の運動会は、開催できませんでした。また、先日お知らせしましたように、本年度も水泳学習が中止となりました。学習活動に制限がありますが、学校は、感染防止に努めながら、できる学習を行っています。学校教育に求められている社会の変化に対応し、自己実現していく力、「主体的・対話的で、深い学び」を目指していきたいと考えています。できることに目を向け、工夫し、前向きに、取り組んでいきます。

◆ 学校教育目標

本校の学校教育目標は、「心身ともに健康で、自ら進んで活動できる人間性豊かな児童の育成を図る」です。教育目標実現に向けて、本年度は次の3つの柱で取り組んでいます。

- 1 確かな学力の向上（基礎学力の定着と児童にとってよくわかる授業づくりの実践）
- 2 豊かな心の育成（個が尊重され集団が伸びる学級づくりの実践）
- 3 健やかな体の育成（「早寝・早起き・朝ごはん金光学力アップ大作戦」の取組）



学校ホームページに、ブログを追加しました。これまでの「活動の様子」は、今後ブログに掲載しますので、学校ホームページのリンクから、ご覧ください。

◆ ICT 活用で学びが広がります

■ タブレット学習が始まりました。



▲タブレットの使い方を学ぶ子どもたち（2年生）

4月末にお知らせしましたように、浅口市では、GIGA スクール構想「キラリと光る未来プロジェクト」で1人1台の端末と高速無線LAN環境が整いました。学校では、クロームブックを使った学習を始めています。まずは、児童も職員もクロームブックに慣れ、活用場面を少しずつ取り入れていきます。本校でも、各学級でクロームブックを使い始めてい

ます。学習道具として使えるようにしていきたいと考えています。

■ 電子黒板が大活躍



▲1年生算数科の授業

各教室では、電子黒板が大活躍です。デジタル教科書を表示しながらの学習は、視覚支援の手段として、どの学級でも欠かせないものとなっています。今後は、リモート学習のツールとしての利用も増えていきます。

◆ レジリエンス



困難な状況に陥ったときに、うまく適応できる能力、困難にぶつかっても、竹のようにしなやかに回復し、乗り越える力（＝精神的回復力）のことをレジリエンスと言います。

▲レジリン

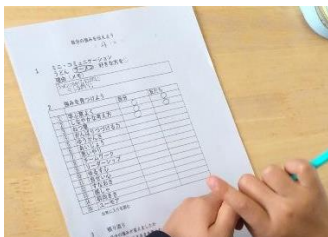
（浅口養護部会が作成したマスコットです。）

新型コロナウイルス感染症防止のため、いろいろな場面で我慢することが多い日々が続いています。困難な状況が続いている今、このレジリエンスを高めることが一層求められています。

浅口郡・市では、養護教諭が中心となって、このレジリエンスを高める取り組みを進めています。本校では、養護教諭による保健指導に続き、先日、スクールカウンセラーの原先生による指導を4・5・6年生で実施しました。今回は、自分の強みを知り、それを友達にきちんと伝えることを目標とした学習でした。



▲5年生の様子（5/24）



▲「強み」を記入するワークシート（4年生）

◆ はじめましての会

5月28日、なかよし1組・2組のみんなが、たんぽぽの会の「はじめましての会」に参加しました。昨年は、中止になりましたが、今年は、オンラインでの開催となりました。直接触れ合うことはできず、残念でしたが、離れた学校の友達と画面を通して自己紹介をして交流することができました。

画面を通して伝わりやすいように自己紹介のフリップを作ったり、自己紹介の様子を実際に電子黒板に映し、どんなふうに伝わるのか確かめたりしながら準備をしました。

当日は、Google Meet を使って交流しました。それぞれの学校の画面を教室の電子黒板



に映して行いました。吉備小学校の自己紹介では、みんな練習した通りに、とても上手に自己紹介をすることができていました。



▲はじめましての会（なかよし学級）

◆ 吉備小の伝統

「あいさつ・くつそろえ・黙って掃除・黙って集合・朝掃除」の取組は、「吉備小の伝統」です。



▲靴箱の様子（6年生）

上の写真は、太陽の時間の後の靴箱の写真です。きちんとそろっています。靴をきちんとそろえることは、心を整えることにつながります。トイレのスリッパがそろっていない時もあります。どの子も、整理整頓を習慣化して、



▲掃除時間の様子（3年生）

心を整え、落ち着いた学校生活を送れるよう、指導を続けていきます。